

ナミズキ 友好の証しに

伊勢神宮 ケネディ米大使が植樹

着任後初めて県内を訪れたキャロライン・ケネディ駐日米大使が16日午後、伊勢市の伊勢神宮内宮で日米友好の証しとして米国から贈られたハナミズキの植樹式に参加し、市民と交流を深めた。

ハナミズキは、約100年前に同市ゆかりの政治家、尾崎行雄が東京市長当時桜の苗木を贈ったことへの返礼として寄贈された。

内宮では、市民や参拝者が手を振って歓迎し、大使は笑顔で応えた。植樹式には、尾崎を顕彰するNPO法人「粁堂香風」の会員や、近くの五十鈴川幼稚園の園児25人も参加。大使は鈴木英敬知事や鈴木健一伊勢市長らと一緒に、スコップを手にハナミズキの苗木の

後初の訪問 市民、園児らと交流



い。平和への決意を新たにさつした。にしていくのは私たちの 同市倉田山中2年の田番で、これから友好関係 浦成昭君(13)と同1年のを深めていくことを楽し 浅野琳子さん(12)から花束を贈られると、大使は



「サンキュー」と言葉をかけ、米国大使館の帽子を2人に手渡した。田浦君と浅野さんは「美しいですね」と言ってもらえ、うれしかった」と話した。式の後、園児から手作りのレイをかけても

ら、お礼に一人一人にチョコレートをプレゼントした。大使は午前中、鳥羽市のミキモト真珠島を視察。木田久主一鳥羽市長や海女の奥村美秋さん(53)、中村友香さん(21)らと記念写真を撮った。奥村さんと中村さんは「とても上品で優しそう

【新井敦】